区分30	専門分野 病態学	授業科目名	特殊分析検査学	単位数	1単位 （20時間）
開講時期	3年　後期	担当教員	野上　晶子	担当教員の実務経験	(有)・無

◆実務経験の内容
大手検査機関SRLおよび長崎・大分の基幹病院にて臨床検査に従事。その後、日本文理大学医療専門学校の教員を経て現職。「現場を知る実務家教員」として、次代の医療人の育成に力を注いでいる。

◆授業の目的・目標
目的: 高度な分析機器の原理と臨床応用を学び国家試験合格に向けて着実な知識の定着を図る。

目標: 特殊な分析手法の長所・短所を理解し、適切な検査法の原理を説明できる。

◆授業の概要・授業方針
概要:基礎（生化学）と臨床（病態学・臨床化学）の統合、HPLC、GC-MS、電気泳動の応用、TDM（薬物血中濃度モニタリング）、毒物分析。

方針: 国家試験の頻出項目を整理しながら、国試合格に向けてのイメージを具体化させる。

◆テキスト・参考資料等
最新　臨床検査学講座　臨床化学検査学　第2版

◆成績評価の方法
卒業認定試験および校外模擬試験での結果で評価。

授業計画		チェック欄
第1回	国試対策①分析法	
第2回	国試対策②電解質	
第3回	国試対策③糖	
第4回	国試対策④脂質	
第5回	国試対策⑤タンパク質	
第6回	国試対策⑥NPN	
第7回	国試対策⑦酵素	
第8回	国試対策⑧ホルモン	
第9回	国試対策⑨ビタミン	
第10回	国試対策⑩その他	